

震災復興を応援する

杜の都・ 仙台 寄付



皆様との強い絆で、
心豊かに暮らすことができる「杜の都」の復興を
ともに、前へ 仙台



震災復興を応援する

杜の都・仙台絆寄付

未曾有の大震災「甚大な仙台の被害」

(平成23年12月現在)

●東日本大震災(3/11)と大型余震(4/7)の仙台の最大震度は6強と激しい揺れ!

- ・建物の全半壊12万件超。宅地被害は4千件超など、全市的に膨大な被害に
- ・被害額は公共施設や住宅宅地・産業施設だけでも1兆2千億円超

●大津波がすごい勢いで押し寄せ4,500ヘクタール超の浸水 未曾有の甚大な被害!

- ・死者・行方不明者730名。ガレキ・津波堆積土砂等265万トン
- ・住宅や学校・介護施設などあらゆる施設が流失
- ・仙台の食を支える優良農地はガレキや土砂が散乱し1,800ヘクタールが塩害に
- ・国際物流拠点の仙台港周辺のガス工場や下水処理場などが壊滅的被害

●地域産業全般にわたり直接・間接に多大な被害!

- ・事業者の建物・設備・在庫や農地・農業設備などの直接被害
- ・被災に伴う廃業・長期休業・生産縮小や雇用の悪化
- ・観光や農畜産物の風評被害

●恒久的な住まいを失くされ応急の住まいに暮らされている方々

- ・約2万6千名(避難所の避難者は当初10万人超)



仙台東部を襲った大津波



中野小学校の被災



市内設置の応急仮設住宅

絆と協働の歩み「ともに、前へ 仙台」

この度の震災からの道のりで、人と人とのつながりや支え合いが「絆」を強め、共に動き、共通の目標に向かって歩みを進める「協働」が知恵や力を生み出してきました。

私たち仙台市民は、犠牲となった方々の無念を忘れることなく、全国各地や海外からの物資やボランティア、寄付金や義援金などの温かなご支援をいただきながら、一日も早い復興に向けて「ともに、前へ」歩みを進めています。



全国から寄せられた七夕短冊



「東北六魂祭」開催



災害ボランティアの活動



応急仮設住宅集会所での支援活動

復興そして再生へ「新次元の防災・環境都市」

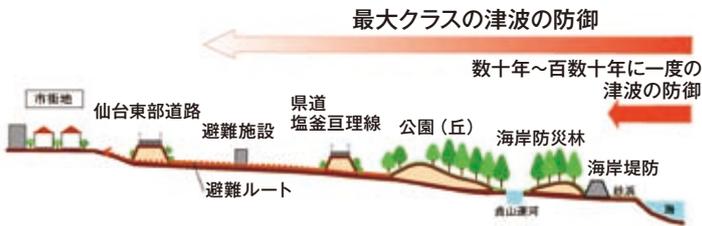
一日も早く甚大な被害を受けられた方々の暮らしを再建し、東北の中核都市として被災地全体の復興を支えていくために、しなやかでより強靱な「新次元の防災・環境都市」をめざします。

●被災された方の暮らしの再建

被災した宅地の復旧、防災集団移転や復興公営住宅整備等による恒久的な住まいづくり、被災者の心身のケアや雇用・就労の支援など

●津波から命を守る多重防御

二重堤防となるかさ上げ道路や津波避難施設・避難道路の整備、海岸堤防や防災林の再整備、海辺の交流再生、津波情報伝達システムの拡充など



●防災・仙台モデルの構築

教訓を未来に生かす防災拠点施設整備、災害に強い都市づくり、避難所や公共施設の防災機能強化、災害適応力の高い防災人づくりなど

●農と食のフロンティア

農地の復旧と再生、農業者の経営基盤強化、都市近郊農業の展開、6次産業化の促進、先進的な農業拠点整備など

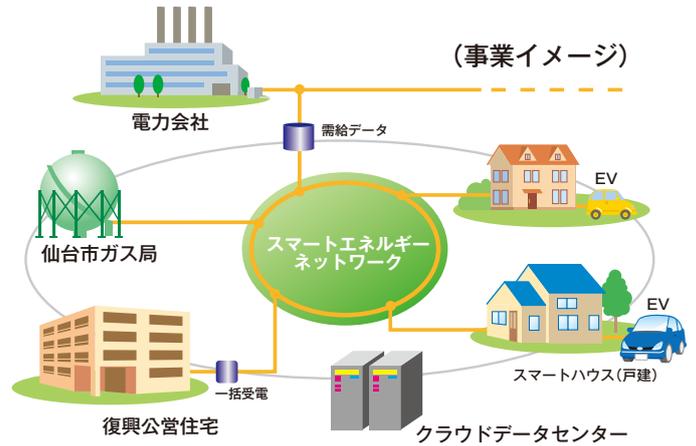


●仙台経済の復興・再生

被災事業者支援、復興特区を活用した産業再生、大規模文化施設・コンベンション施設や都市型産業の誘致、観光や文化・交流を通じた元気や賑わいの回復など

●持続的なエネルギー供給

エネルギー供給を持続できるエコモデルタウン整備、次世代エネルギー研究開発拠点づくり、次世代自動車(EV・PHV)の普及促進、非常時でも安心な都市づくりなど

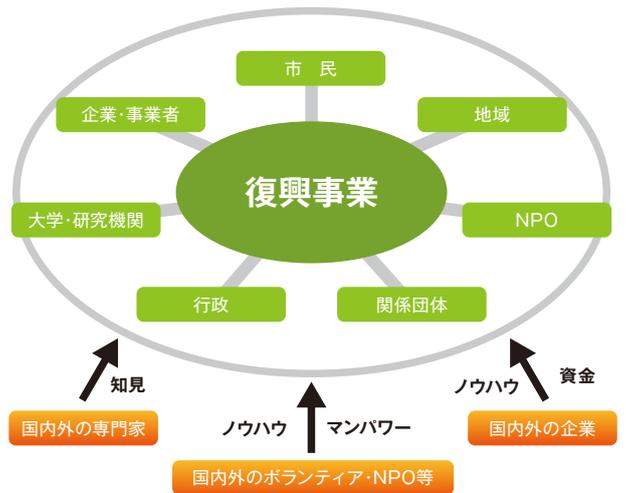


●震災メモリアル発信

震災アーカイブ・メモリアル施設やモニュメントの整備、震災の教訓を継承する記録・成果の集積と発信など

●絆・協働まちづくり

災害時の自助・共助の再構築、地域支え合い活動推進、復興まちづくり担い手育成、市民や企業の力を復興につなげる協働推進、地域とともに歩む学校づくりなど



●暮らしを支える公共施設の早期復旧

ライフライン、小中学校、保育所・児童館、介護・福祉施設、文化・スポーツ施設、地域活動施設、道路・公園などの復旧

地域を越えて支え合う「杜の都・仙台絆寄付」

●寄付金の使い道

- ・復興には仙台市の通常の年間予算の倍以上の事業費が見込まれており、お寄せいただいた寄付金は、震災復興事業のために有効に使わせていただきます。

●寄付された方のご紹介と活用状況のお知らせ

- ・ご寄付いただいた皆様のご厚意に深く感謝するとともに、仙台市ホームページに、同意いただいた方のお名前や寄付額をご紹介します。
- ・寄付金の活用状況は、決定・実施の状況に応じてお知らせします。

●税制面の優遇

- この寄付金につきましては、税制面で優遇されます。
- ・個人の方は、確定申告（ふるさと納税）していただくと、住民税と所得税から一定額が控除され、税金が軽減されます。

例①：年収500万円・単独世帯で5万円寄付

⇒住民税・所得税合わせて約3万5千円が軽減

例②：年収750万円・夫婦と子供2人世帯で5万円寄付

⇒同じく約4万3千円が軽減

例③：年収1000万円・夫婦と子供2人世帯で30万円寄付

⇒同じく約14万3千円が軽減

- ・事業者の方は、申告していただくと、寄付金の全額が法人税の損金として扱われます。

●寄付金のお申し込み

- ・ご寄付いただける方は、下記の申込書にご記入のうえ、FAXや郵送により、お送りください。
- ・仙台市ホームページ (<http://www.city.sendai.jp/>) からもお申し込みいただけます。

「仙台絆寄付」で検索してください

仙台絆寄付

検索

<http://www.city.sendai.jp/>

FAX送信票

送信先FAX番号▶022-262-6709

(あて先) 仙 台 市 長

次のとおり、仙台市への寄付を申し込みます。

フリガナ		電話番号	()	-
お名前		ご連絡先	FAX 番号	() -
			E メールアドレス	
〒	-			
ご住所	都 道	市 区		
	府 県	郡		
お申込金額				円

■寄付金の使い道

寄付金は、次の目的で実施する事業に活用させていただきます。ご指定がある場合は、該当の全てをチェックしてください。ご指定のない場合はチェック不要です。

- 津波や地震で甚大な被害を受けた方の安全な暮らしを取り戻すために
- 被災した子どもたちの希望ある未来への成長を応援するために
- 被災した高齢者・障害者が安心できる生活を支えるために
- 被災した中小企業の活性化や雇用の確保を促進するために
- 復興に向けた力となる文化・芸術や交流活動を広げるために
- 東北の復興のシンボルとなる再生プロジェクトを進めるために
- 東北の持続的な発展に貢献する新次元の防災・環境都市づくりをめざすために
- その他 ()

■公表の希望

皆様のご厚意に深く感謝し、仙台市ホームページや復興関連冊子に、同意いただいた方のお名前や寄付額をご紹介します。

お名前の公表：同意する 同意しない

ご住所の公表：同意する 同意しない

寄付額の公表：同意する 同意しない

■寄付金の納付方法

希望される納付方法をチェックしてください。

銀行口座振込（振込予定日： 月 日）

（名 義：仙台市災害対策本部

銀 行 名：七十七銀行仙台市役所支店

口座番号：普通預金 5334233）

納付書による納付（お使いいただく納付書を郵送します）

現金書留（手数料等は寄付される方のご負担となります）

現金持参

※仙台市では、電話による寄付の勧誘やATM操作による専用口座への振込依頼は、一切行っておりませんのでご注意願います。
※ご記入いただいた個人情報は本件寄付に関する業務以外には使用いたしません。

お問い合わせ・お申し込み先

仙台市財政局財政課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号

TEL：022-214-8111 FAX：022-262-6709 E-mail：zai003010@city.sendai.jp